

私の決意と基本政策

かどかわ 大作

4年前の12月、私は、一身を投げうつ決意を致しました。

市長就任以来、多くの皆様に支えられ、「共汗」と「融合」、そして「現地現場主義」をモットーに、全力で市政運営に当たってまいりました。

この4年間、徹底した行財政改革を断行し、京都市の借金総額を減らす一方、決して縮小一辺倒に陥ることなく、福祉や教育、市民生活の安心・安全を守り、中小企業や地場産業をしっかりと支え、「環境モデル都市」の推進や、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の推進、産学公連携による「知恵産業」の創出など、未来の京都への先行投資も積極的に行ってまいりました。

そして、昨年、この間の市民の皆様と共に築いてきた数々の実績を土台として、徹底した市民参加により、市民の皆様への夢と希望が込められた京都の未来像を描いた「はばたけ未来へ！ 京プラン(京都市基本計画)」を創り上げました。私は、今、この新しい京都の未来像の実現に挑戦したい。そのために、引き続き、市政を担わせていただきたいと決意しました。

2期目にのぞみ、次の3点を柱に据え、全力で取り組む覚悟です。

まず、第一に、福祉、医療や教育、子育て支援の充実など、徹底して「市民のいのちと暮らしを守り」抜きます。そして、知恵産業の創造など確かな成長戦略のもと、京都の強みを最大限に生かして、力強い「経済の再生と雇用の創出」を図ります。

第二に、環境や文化、観光、景観、歩くまちなど、京都の魅力に更なる磨きをかけ、都市格を高め、「世界の文化首都・京都」への飛躍をめざします。

そして、第三には、区役所改革を通じた、京都モデルの「参加協働による区のまちづくり」の推進と「府市協調による二重行政の打破」、市民生活を守り、都市の成長を支える「財政構造の抜本改革」を実行します。

私は、生まれ育った京都が大好きです。京都の「ひと」と「まち」に深い愛着を抱いています。京都が誇りとする地域力、文化力、人間力を市民の皆様とともに更に大きく飛躍させ、「スピード」「パワー」「ハート」を信条に、全身全霊を傾けて、明るい未来の京都づくりに邁進することをお誓い致します。

基本政策

1 市民のいのちと暮らしを守り、力強い経済の再生と雇用創出

- ①「知恵産業」の創造など京都版成長戦略で「経済の再生と雇用の創出」を図ります。

厳しい経済環境にある中小・零細企業、地場産業をしっかりと支援します。

また、産学公連携による知恵産業の育成や、多様で活力ある中小・ベンチャー企業の成長支援、地域の魅力を高める商店街づくり、伝統産業の活性化、農林業の振興と食文化の発信など、京都の強みを最大限に生かした成長戦略を推進し、京都のブランド力向上による京都経済の力強い再生と市民生活を支える雇用の創出を図ります。

- ②福祉と医療を充実し、「安心・安全な福祉のまちづくり」を進めます。

お年寄りや障害のある人、弱い立場の人をはじめ誰もが住みなれた地域で、互いを思いやり、いきいきと健やかに生活できるよう、介護・医療施設の整備や生きがいづくり、健康づくり、ユニバーサルデザインの推進を図るとともに、京都の持つ地域力を生かした見守りネットワークを構築し、地域全体で支え合う福祉のまちづくりを進めます。

- ③教育、保育などの充実で「子育て環境日本一」をめざします。

子ども医療費の負担軽減や保育ニーズへの的確な対応、子どもの教育環境の充実を進めます。伝統と文化を学び、家族の絆を大切に、地域ぐるみで子育て・教育を高め合う、子育ての喜びを実感できるまち、若者が夢と希望を持てるまちを実現します。また、男女が協力して仕事と家庭生活、社会貢献を調和させることができる真のワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。

- ④「災害に強いまちづくり」で市民のいのちと暮らしを守ります。

東日本大震災の教訓を踏まえ、橋りょうの耐震補強などの都市機能の確保や、避難所運営体制の構築など、徹底した防災力の向上にスピード感を持って取り組みます。また、原子力発電所の事故に備え、放射線モニタリング体制の強化や広域的な連携体制の整備など、万一の原子力災害に対する万全の対策を講じます。

2 京都の魅力に更なる磨きをかけ、都市格を高め、「世界の文化首都・京都」へ飛躍

⑤市民ぐるみで「環境にやさしい循環型社会」を構築します。

DO YOU KYOTO? を合言葉に、市民力や地域力を結集し、地球環境にやさしいまちづくりを推進するとともに、木の文化を大切にし、ごみを出さない循環型社会の構築を図ります。

また、原発に依存しない社会の早期実現に向け、産学公連携の下、太陽光や小水力発電など再生可能エネルギーの導入拡大や地産地消、省エネを積極的に推進します。

⑥「文化芸術・スポーツ都市」、観光・MICE推進で「5000万人感動都市」を実現します。

くらしの中に息づく文化芸術がまちの賑わいを生む、「世界の文化首都・京都」への飛躍と、健康に笑顔で集えるスポーツ都市をめざします。

また、京都の魅力をいかした国際MICE都市への飛躍と観光振興で、世界の人々が共感する「5000万人感動都市」の実現をめざします。

⑦豊かな自然や文化資産など「ストック活用の景観まちづくり」を推進します。

京都が誇る山紫水明の自然景観や風情豊かな歴史的な町並み景観を保全し、次世代にしっかりと継承していきます。また、世界遺産をはじめとする歴史的な建造物や庭園、伝統行事など、それぞれの地域が育んできた歴史・文化資産の未来への継承と創造的な活用、空家・空き店舗の活用を促進し、魅力あふれる地域まちづくりを公民協働で進めます。

⑧安心・快適で活力を生み出す「都市基盤の整備」と「歩くまち京都」を推進します。

道路や街路樹、河川や公園、上下水道施設等の計画的な整備・改修や、京都駅南口駅前広場をはじめとする社会資本の整備、京都の新しい活力を担う南部創造のまちづくりを着実に進めます。

また、四条通や都心細街路等における安全でゆとりある歩行空間の整備を進め、公共交通の利便性を最大限に向上させ、魅力と活力ある「歩いて楽しいまち」の実現をめざします。

3 区役所改革などによる地域主権時代をリードする自治の構築と財政構造の抜本改革

⑨区役所改革の一層の推進を通じて、京都モデルの「参加協働による区のまちづくり」を進めます。

市民に最も身近な区役所の機能・権限強化と京都の誇る自治の伝統や各区の特色を生かし、新しい京都モデルの参加協働による区のまちづくりに挑戦します。

「区民提案予算」や「区民まちづくり会議」等を創設し、東日本大震災を踏まえた地域防災力の向上や地域コミュニティの活性化、区民やNPO、企業、大学等の知恵と力を生かした絆でむすぶ地域の主体的なまちづくりを推進します。

⑩「府市協調による二重行政の打破」と「財政構造の抜本改革」を実行します。

府市協調をより一層進化させ、オール京都で徹底して政策を融合し、二重行政を打破します。将来を見据えた、抜本的な大都市制度改革については、市民的議論を深め、国へ積極的に提案していきます。

また、市民生活を守り、都市の成長を支える持続可能な行財政の確立に向けて、人件費総額の抑制や市債残高の更なる縮減、事業手法の見直しや民間活力の導入による徹底したコスト削減など、行財政改革を徹底するとともに、地下鉄事業の更なる経営健全化に取り組みます。併せて、京都版成長戦略の推進で京都経済を活性化し、自主財源の拡充を図ります。

さらに、公務員倫理の徹底はもとより、創造的、意欲的な職員の育成を進め、組織の縦横の連携を更に強化し、市民、議会との信頼関係のもと、より一層の公平・公正・透明な市政を推進します。